

郵便と／の美術

Postal Art



1

特別講演会
日時：2027年1月17日［日］午後2時～
講師：玉木明氏（日本郵便株式会社
切手・葉書室課長、切手デザイナー）
会場：1階市民ギャラリー（先着100名）、無料

講演会「郵便と／の美術を語る」
日時：2027年1月31日［日］午後2時～
講師：田良島哲氏
（東京国立文化財研究所客員研究員、
郵政歴史文化研究会第六分科会主査）
倉地伸枝氏（郵政博物館学芸員）
大澤真理子（当館学芸員）
会場：1階講座室（先着60名）、無料

展覧会講座「郵便と／の美術」
日時：2027年2月6日［土］午後2時～
講師：大澤真理子（当館学芸員）
会場：1階講座室（先着60名）、無料

ワークショップ「絵封筒をつくろう」
日時：2027年2月14日［日］
講師：井村恵美氏（郵政博物館主席学芸員）
会場：1階創作室（事前申込制、有料）
対象：小学3年生以上
詳細は後日当館ウェブサイトに掲載予定
（申込締切 1月25日［月］）

小型記念日付印押印サービス
日時：2026年12月12日［土］、13日［日］
場所：2階企画展ロビー
企画展ロビーへの入場には観覧券が必要です。
※小型印押印には85円以上の切手が必要です。

府中の森芸術劇場 Presents
奥村愛ヴァイオリンコンサート
in 府中市美術館
出演：奥村愛、前田尚徳（ヴァイオリン）、
大谷俊哉マリウス（ヴィオラ）、丸山泰生（チェロ）
日時：2026年12月13日［日］
午前11時、午後2時開演
会場：1階エントランスロビー、無料

1　清水晃《ポスト》1964年 清水晃蔵
2　中村洗石《郵便物投函の図》1911年
3　《明治4年48文切手（龍文切手）》1871年

府中市美術館
〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3
ハローダイヤル 050-5541-8600
https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/



2



3

郵便という制度は、そのはじまりから美術と共にありました。切手、絵葉書などが美しさを追究して作られてきたことをはじめ、郵便にまつわる事業を広く伝えるためにも、さまざまな表現が取り込まれてきました。広く大衆に、事業の意義を伝え、信頼を高めていくために、美術表現が用いられてきたのです。

一方で、ポストなどのアイテム、さらには郵便システム自体を利用した美術作品も作られてきました。身近であること、世界に広がるネットワークがあること、そしてグラフィカルであること。こうした要素が美術家たちを刺激してきたのです。

本展では、郵便事業の発達を美術的な視点から紹介することで「郵便と美術」の関係を辿ります。一方で、郵便をモチーフとしたさまざまな美術作品を通じて「郵便の美術」を紹介します。美術を切り口に郵便を見るとともに、郵便の視点から美術を見つめ直すことで、「郵便」をめぐる多面的なイメージが立ち上がってきます。

2026.12.12 SAT. — 2027.2.21 SUN.

休館日：月曜日（1月11日は除く）、12月28日［月］— 1月4日［月］、1月12日［火］
開館時間：午前10時 — 午後5時（展示室入室は午後4時30分まで）
主催：府中市美術館｜特別協力：郵政博物館｜※一部作品の展示替えを行います。

［観覧料］
一般800（640）円、高校・大学生400（320）円、小・中学生200（160）円
- （ ）内は、20名以上の団体割引料金。● 未就学児無料。
- 障害者手帳等（ミライロID可）をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
- 府中市内の小・中学生は「府中っ子学びのパスポート」提示で無料。
- 本展観覧料でコレクション展もご覧いただけます。

1 郵便と美術

近代日本において、新たに導入された郵便制度を定着させ、発展させていくために、人々の視覚と感性に訴えるグラフィックが用いられてきました。切手や絵葉書の製作には画家たちも起用され、時代の先端的表現を用いたポスターも数多く作られました。
郵便制度がかたち作られた明治初頭から太平洋戦争を経て戦後の高度経済成長期へといたる切手、絵葉書、事業ポスターなどの変遷を辿ると、郵便事業の発達の様子がわかると同時に、それぞれの時代ごとに国家に望まれたイメージ、人々が求めたイメージが浮かび上がってきます。


8



4



5



6


7



4 《大正２年１銭５厘切手（田沢切手）》1913年
5 《昭和14年1円切手（第一次昭和切手）》1939年
6 原画：大塚均《昭和39年 東海道新幹線開通記念10円切手》1964年
日本で最初の龍文切手から高度経済成長期の切手まで、
切手の小さな画面は時代の流れと結びついてきました。
7 久保田米僊《郵便現業絵巻》（第３図、第６図）1893年
郵便事業の様子を描いた絵巻は海外の博覧会で展示され、
近代化を果たした日本の姿を伝えました。
8 鶴田吾郎《手紙を書く兵士（陣中書信）》1939年 千葉県立美術館蔵
戦時中には、郵便は戦地と国内の家族を結び、挙国一致体制のシンボルとして描かれました。
9 原画：逓信博物館《ポスター「速達郵便」》1937年
10 《ポスター「国民保健体操」》1928年頃
目を引くモダンなポスターが数多く作られ、新たに導入された事業を広く人々に知らせました。

作品所蔵の記載のないものは全て郵政博物館蔵



9



10

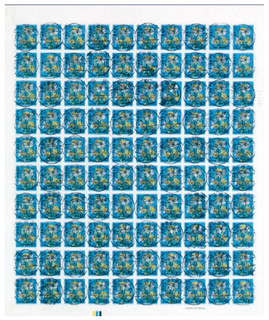
2 郵便の美術

郵便にまつわるアイテム、さらに郵便の機能それ自体が美術家たちの創造の源となってきました。作家という個人の表現活動のなかに、公共のシステムである郵便をとりまくさまざまな事象が取り込まれていったと言えます。
暮らしに密着した形で事業の根幹をささえた郵便配達員。投函することで異なる場所・時間へと郵便物を届ける内部空間をもつポスト。投函された時間と場所が記録される消印。色や大きさの制約のなかで印刷され、多くの人々の目に触れながら拡散していく切手。作家たちはその機能や特質に着目し、ふだん何気なく接している郵便にあらたな角度から光をあてながら作品を生み出していきました。


11



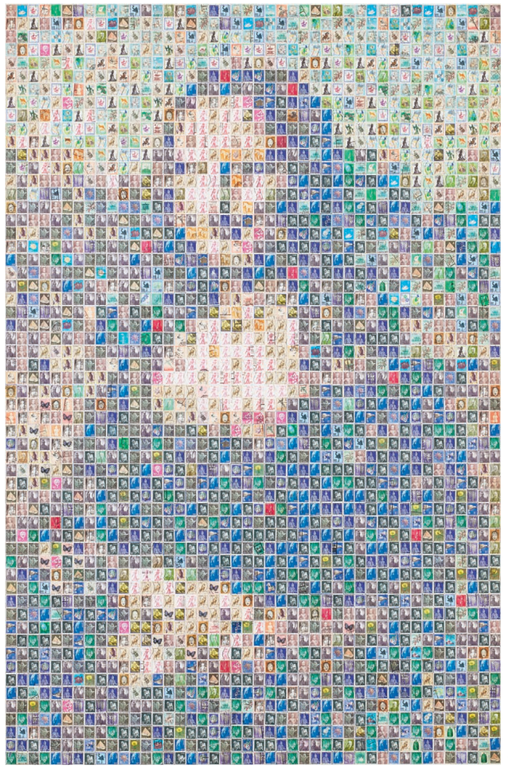
12


13

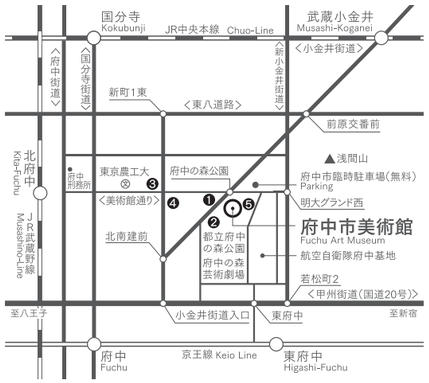


14

11 佐藤哲三《郵便脚夫宮下君》1931年
新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
郵便配達員は、誇りを持って公的な仕事を担う
職業人の姿として描かれています。
12 横尾忠則《郵便切手図案懸賞募集作品「皇太子
殿下に地球儀と船を描く」》1953年
横尾忠則が高校生時代に描いた切手図案からは、
グラフィックデザイナーとしての才能がうかがえます。
13 太田三郎《Date Stamps, 5 July 1985 to 12 October
1985》1985年 公益財団法人DNP文化振興財団蔵
消印が押された100枚の切手からは、
作者の生活の痕跡が浮かび上がってきます。
14 清水晃《ポスト》2008年 清水晃蔵
ポストの内側は、どこに繋がっているのか。
見慣れたポストが異界への扉として見えてきます。
15 福田繁雄《世界への微笑》1988年
一枚の使用済み切手を一色の画素として利用する
ことで、新たなイメージが作り出されています。


15

［交通案内］
京王線府中駅から
– 京王バス武蔵小金井駅南口行き（一本木経由、武71系統）
「天神町二丁目（府中市美術館）」❶下車徒歩３分
– 京王バス武蔵小金井駅南口行き（学園通り経由、武73系統）「天神町幼稚園」❸下車徒歩８分
– ちゅうバス多磨町行き「府中の森公園」❺下車徒歩６分（8時から毎時30分間隔で運行）
京王線東府中駅北口から
– 徒歩17分
– ちゅうバス多磨町行き「府中の森公園」❺下車徒歩６分（8時６分から毎時30分間隔で運行）
JR中央線武蔵小金井駅南口から
– 京王バス府中駅行き（一本木経由、武71系統）「天神町二丁目（府中市美術館）」❷下車徒歩３分
– 京王バス府中駅行き（学園通り経由、武73）「天神町幼稚園」❹下車徒歩８分
JR中央線国分寺駅南口から
– 京王バス府中駅行き（東八道路経由、寺92）「天神町幼稚園」❹下車徒歩８分
お車をご利用の場合は府中市臨時駐車場（無料、約44台収容）をご利用下さい。



府中市美術館

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3
ハローダイヤル 050-5541-8600
https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/